

総合的な学習の時間 学習指導案

- 1 日時 令和3年11月12日（金）第6校時
- 2 学年 第6学年1組 男子13名 女12名 （計25名）
- 3 単元名 2030年までに海田町のためにできることを考えよう KTGs2030
～今日の私たちの行動が海田の明日を作る～

4 単元について

（1）単元観

本単元では、現状の海田町の魅力や課題を把握し、将来自分たちが大人になる2030年においても住みやすい海田町にするためには、どのような目標が必要かを考える単元である。KTGs2030とは、Kaita Town Goalsの略であり、2030とは2030年を意味する。自分が住んでいる海田町をより大好きになり、大人になった時にも海田町に住むことを想像して目標を探究していく。目的に応じた整理・分析を行い、友達との話し合い活動を通して、探究的な学習のプロセスを繰り返すことができるものである。自分が住む海田町を設定することで、身近で切実感のある課題となり、主体的に学びを深める事が期待できる。

（2）児童観

本学級の児童は、第3学年の総合的な学習の時間において、校区内を散策し千葉家などの海田町の文化財について学習を行っている。また、第4学年では、海田町の防災の取組について学習を行い、第6学年では、海田町に功績を残した織田幹雄氏についての理解を深めている。今年の7月に実施された子ども議会への質問内容もクラス全員で話し合い、海田町の課題について意見を出し合っている。

今年から導入されたタブレットの操作にも慣れ、インターネットを活用した調べ学習やスライドを使ったプレゼンテーションを多く経験している。一方、身近な海田町の魅力や問題点について、数多く挙げられる児童は少ない。

（3）指導観

指導に当たっては、次の点に留意して学習を進めていきたい。未来の海田町という予測が難しい課題であり、理想のみの解決策が多いことが予想される。解決策は、現実的で自分が普段の生活でできる事や取り込める事に焦点化する。

探究的な学習となるよう、各小単元においてパフォーマンス課題を設定し、児童が主体的に取り組むことができるような工夫を行う。小単元1では、海田町の現在の魅力や問題点を見出していく。ウェブマッピングを用いて、多くの意見を出していく。小単元2では、海田町の未来の姿（ゴール）を創造していく。バックキャストという考えを児童と共有していく。小単元3では、SDGsの17の目標について理解を深めていく。世界で取り組んでいる目標を海田町と関連できないかを探究する。最後には、自分が取り組んできた解決策や過程などを紹介する活動を行っていく。

自分が思考する際には、思考ツールを活用し整理・分析を記録に残していき、根拠を増やしていく。中間発表を取り入れ、友達の考えを知る場を設定する。児童の到達状況を見極めながら、パフォーマンス課題を変更していく。「こんな考えがあるんだ」という新たな発見や、「もっと調べてみたい」という主体的で協働的な手立てを取り入れていきたい。

5 単元の目標

自分が住んでいる海田町の魅力や問題点について、目的に応じた整理・分析や友達との話し合い活動を通して、自分が住んでいる海田町をより好きになり、大人になった時にも海田町に住むことを想像して解決策を見出し、行動することができる。

6 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①海田町には諸問題が存在し、それらの課題解決に取り組むことが、将来の自分たちの生活に関わっていることを理解している。</p> <p>②活動を通して調べたり考えたりしたことについて、相手意識や目的意識を明確にしながらまとめる方法が分かっている。</p> <p>③海田町のよさに気付いている。</p>	<p>①海田町の現在の課題を知り、将来の解決に向けて自分にできることを考えている。</p> <p>②発表に向けて必要な情報の手段を選択して収集している。</p> <p>③発表に向けて収集した情報を取捨選択したり、複数の情報や考えを比較したり、関連付けたり、焦点化したりしながら解決に向けて考えている。</p> <p>④伝える相手や目的に応じて自分の考えをまとめ、適切な方法で表現している。</p>	<p>①より良い海田町にするために見通しをもって考えたり実行したりする中で得た知識や友達の考え、地域の方々の考えを生かしながら、協働して課題解決に取り組もうとしている。</p> <p>②課題解決に向けた自分の取組や状況を振り返り、発表に向けて粘り強く取り組もうとしている。</p>

7 ルーブリック

	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
主体性	・自分ができる事を実行できる。	・自分ができる事を計画できる。	・目的に応じた整理・分析ができる。	・目的に応じて調べることができる。
コミュニケーション能力	・進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすることができる。	・互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。	・司会などの役割を果たしながら話し合い、共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。	・相手の発言を受けて話をつなぐことができる。
メタ認知	・自己評価と他者評価を生かした振り返りをして、それを自分の生活に生かそうとしている。	・自己評価と他者評価を生かして、より深く学習を振り返ることができる。	・より深く自己評価をして学習内容を振り返ることができる。	・学習内容を振り返ることができる。

8 指導計画（全 24 時間）

小单元 1（2 時間）	海田町の現在の魅力と問題点を見出そう
小单元 2（4 時間）	海田町の未来の姿（ゴール）を設定しよう
小单元 3（2 時間）	SDGs 17 の目標について理解を深めよう
小单元 4（6 時間）	KTGs2030（現在と未来をつなぐ目標）を設定しよう
小单元 5（4 時間）	自分ができることを実行しよう
小单元 6（6 時間）	振り返って伝えよう

9 本時の学習（12/24）小单元 4

（1）本時の目標

自分で設定した KTGs2030（現在と未来をつなぐ目標）を基に、必要なもの、どちらにもあてはまるもの、欲しいものに分類し、なぜそれを選んだか理由をつけて説明することができるようにする。

（2）観点別評価規準

自分で設定した KTGs2030（現在と未来をつなぐ目標）を基に、必要なもの、どちらにもあてはまる、欲しいものに分類し、なぜそれを選んだか理由をつけて説明することができる。

【思考・判断・表現】

（3）準備物



ボード（児童用）、付箋

（4）学習の展開

時刻	学習活動	指導上の留意事項(◇) ◆「努力を要する」状況と判断した児童への 指導の手立て	評価規準 (評価方法)
14:20	○前時までの振り返りを行う。	◇これまでに学習してきた過程が分かる掲示物を提示する。本時の学習にスムーズに取り組むことが出来るようにさせるため。補足説明を入れる。	
	めあて 自分で設定した KTGs2030 を基に分類し、選んだ理由をつけて説明しよう		
14:25	○活動の方法を知る。 ①必要なもの、どちらにもあてはまるもの、欲しいものに分類する。 ②その理由をつけて説明する。	◇活動の流れやポイントを板書し、活動のイメージをもてるようにする。	
14:30	○個人で考える。	◇自分で考えた KTGs2030 の目標を再確認させる時間を設け、グループでの協議で理由や自分の考えをもって説明できるようにする。	
14:35	○グループで話し合いをする。	◆友達の意見を尊重し、批判的な言い方や一方的な言い方にならないように指導する。 ・私は A 君の○○の考えがよいと思います。これを△△したらよりよいと思います。(提案) ・私は□□だと思いますが、Bさんはどう思いますか。(相手の考えを聞く)	【思・判・表】 自分が分類した理由を説明することができる (発言・ワークシート)

14:50	○全体で共有する。 ○本時の学習を振り返り、次時の課題を知る。	◇グループで話し合いをした内容を2分で話をさせる。	
	★目指す児童の姿		
	友達のKTGs2030を知り、取り入れたいと思いました。よりよい目標を考えていきたいです。		

(5) 板書計画

めあて

自分で設定したKTGs2030を基に分類し、選んだ理由をつけて説明しよう

すぐに行動できるもの 自分たちの力だけではできないもの

グループごとの考えが分かるボード

すぐに行動できるもの

「自分から」を
心がけよう

自分たちの力だけではできないもの

ポイ捨てをゼロ
生き物たちの住
みやすい町に

個人で考える

グループで話し合う

説明する(2分)